



# 和船でゆったりと

## 「我入道の渡し」今春も

木造和船で沼津市の狩野川河口部を行き来する「我入道の渡し船」が20日、今年の運航を始めた。同市我入道から市中心部のあゆみ橋までの約2・5キロを片道約15分かけてゆったりと進み、乗客は船から狩野川周辺の景色を楽しんだ。

記事を読んで、問いに答えましょう。

①見出しの  には、川の名前が入ります。漢字で書きましょう。

( 狩野川 )

②「我入道の渡し」には、どんな船が使われていますか。記事から分かることを書きましょう。

(例) (船頭さんがいる) 木造和船

③我入道からあゆみ橋まで往復で約何キロありますか。また、この渡し船で往復すると約何分かかりますか。

往復 約 ( 5 ) キロ 約 ( 30 ) 分

④【中学生以上の皆さんへの問題】  
この渡し船の時速を計算して書きましょう。

時速 約 ( 10 ) キロ

⑤「我入道の渡し」の船頭さんたちは、どんな願いを持っていると思いますか。30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

(例)

- ・乗客には、事故がないように安全に船を楽しんでもらいたい。(28字)
- ・操船や乗客の乗り降りを補助する船頭さんが増えるといいな。(28字)
- ・船から景色を楽しめる渡し船がこれからも長く続くとうれしいな。(30字) など

## 地元小学生ら 運航祝う

同日は同市我入道東町の乗り場で祝賀式典が開かれ、地元の小学生から船頭に花束が渡された。船頭の川口正典さんは「事故のないように安全に楽しんでもらいたい」と意気込んだ。

渡し船は沼津我入道漁協が市から指定管理を受けて運営する。運航は同日～5月31日、7月19～31日、9月13日～11月30日のいずれも土、日曜と祝日のみ。4月25日～5月6日は毎日運航する。

同漁協は操船や乗客の乗り降りを補助する船頭を募集している。問い合わせは同漁協へ電055(9331)1395へ。

(東部総局・田中秀樹)



青空の下、今年の初運航となった渡し船を楽しむ乗客ら＝沼津市